

1. 短期展望

(p. 1)

- ①[アメリカの景気は底堅い]
- ②[日銀、利上げ見送り]

2. 展望①：M&Aブーム到来の背景 世界ランキングで時価総額下位の日本企業

(p. 2)

業界ごとの株式時価総額の世界ランキングを見ると、トヨタを唯一の例外として、日本企業の順位は軒なみ下位である。これは今年から始まるM&A(企業の吸収・合併)のブームが、極めて大規模になる事を物語っている。

3. 展望②：ウォール・ストリートの凋落

(p. 9)

「アメリカの製造業はダメになった。しかしアメリカの金融サービス産業は世界に冠たるものである。」従来はこの様に信じられていた。しかし意外な事に、アメリカの資本市場が、ロンドンや欧州そして香港に押されて力を失いつつある。

4. 展望③：国内情勢展望

(p. 12)

- ①[安倍首相のネオコン離れ]

安倍政権が、米国内でロックフェラー系の国際協調派の意向を受けて、急速にネオコン離れ。久間防衛大臣発言もこの安倍首相のネオコン離れの意向を反映したもの。一方、マスメディアでは久間叩きが始まった。

- ②[グリコ森永事件と食品業界の再編成]

グリコ森永事件に関与したとされる人物の逮捕により、わが国の食品業界の暗黙の秩序が崩壊。これにより、わが国食品業界は本格的な国際競争、すなわち買収・合併、合従連衡の時代に突入した。「不二家」問題もその一環である。

5. 展望④：ユーラシア情勢

(p. 15)

日露戦略対話がスタート。プーチン・ロシアは一貫して反ネオコンの立場を堅持。安倍政権は北方領土問題を含む日露関係の抜本的な解決により、米ネオコン派主導のユーラシア戦略に出来るだけ巻き込まれないよう戦略的な防波堤の構築に着手した。